



秋ギクの開花調節にも使える防蛾灯

防蛾灯(黄色蛍光灯)は、1ルクス以上の照度で終夜照明すれば、日の入り直前から日の出直後まで活動する夜蛾類の成虫に対して高い防除効果があり、また、秋ギクの開花時期を分散させることができます。

点灯時間および期間

防蛾灯の点灯時間は日の入り直前から日の出直後までの終夜とし、点灯期間は定植日から採花終了までとします。

照度

キクの開花への影響を考慮して、点灯圃場内の畝面照度は最大でも5ルクスとします。

設置基準

防蛾灯(管状、40W)のランプ方向は畝面に対して垂直とし、ランプ中央部を地上5mに設置します。実際の設置では、地上でのランプ間の距離を16m(10a当たり約12灯)とします。

👉 注意点！

照明による光害防止

圃場の周辺では照明による光害が発生しないよう注意してください。

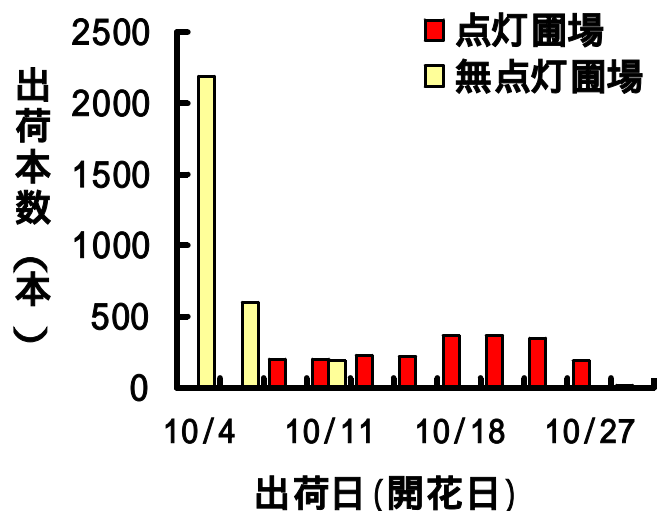
夜蛾類幼虫への効果

防蛾灯照明は夜蛾類幼虫に対する防除効果はありません。

防蛾灯点灯圃場の様子(沖美町)



防蛾灯が秋ギクの出荷本数におよぼす影響
(1998, 三次市, 品種‘精興黄金’)



	点灯圃場	無点灯圃場
定植日	6月18日	5月29日
定植本数	1,206本(80㎡)	1,080本(72㎡)
摘芯日	6月29日	6月11日